

サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く「2011 年冬のボーナスと家計の実態調査」

平均手取額は調査開始以来最低 61.5 万円(昨冬比-0.6 万円)

使い道トップ「預貯金」75.0%は調査開始以来最高、お金にまつわる 2012 年の抱負も「貯金」!

**昨年 1 年間で金融資産が“増えなかった”7 割強、教育費や投資の失敗重荷に
家計にとって円高は“マイナス”(38.8%)、「夫の仕事に影響出る」から**

主婦の“へそくり”熱高まる! 平均額 376.1 万円(昨冬比 67.8 万円増)、所持率も増加!

**2012 年家計は“緊縮”(17.8%)より“メリハリ”(43.4%)! 外食控え、貯金・通販活用
臨時ボーナスあげたい人は、調査開始以来最高得票で「なでしこジャパン」!**

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(社長:山本 学)は、全国の 20~50 代のサラリーマン世帯の主婦 500 名(各年代毎 125 名 平均年齢 39.5 歳)を対象に、「2011 年冬のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2011 年 12 月 9 日(金)~13 日(火)に実施いたしました。

今回の調査では、ボーナス平均手取額が 61.5 万円と、調査開始以来最低となった前回(62.1 万円)をさらに下回る結果となりました。しかし、家計に関しては“楽である”が 3 年ぶりに 4 割台に回復しており、ここ数年続く厳しい経済状況に家計は徐々に順応してきているのかもしれませんが、一方、ボーナスの使い道では「預貯金」が調査開始以来最高となる 75.0%を記録し、お金にまつわる 2012 年の抱負や夢では「貯金する」が突出したトップとなり、家計の見直しでも「貯蓄を殖やす」が 8 割を超えるなど、今年の主婦は貯蓄意識が非常に高いようです。

主婦のへそくり所持率は、48.2%と過去 5 年間の中で最も高く、へそくり所持平均額も 376.1 万円と昨冬より 67.8 万円と大幅に増加していることなどから、「貯める」意識の高さが見て取れます。

第 23 回損保ジャパン DIY 生命アンケート「2011 年冬のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は以下となります。

《「2011 年冬のボーナスと家計の実態調査」の主な結果》

＜2011 年冬のボーナス＞

- 冬のボーナス「増えた」は 31.8%、「減った」は 29.2%。平均手取額は 61.5 万円(昨冬より-0.6 万円減)。
- ボーナスの使い道トップ「預貯金」75.0%は調査開始以来最高。総額に占める割合 41.0%も最高。
- ボーナスから夫に小遣い“渡さない”主婦は約半数、理由は「必要なときにはその都度渡している」から。
- この冬臨時ボーナスをあげたい人は「なでしこジャパン」「芦田愛菜」「橋下徹」もランクイン。
- 主婦が詠む冬のボーナス川柳、今冬の使い道を反映した「ボーナスは 通帳記帳に なっただけ」など。

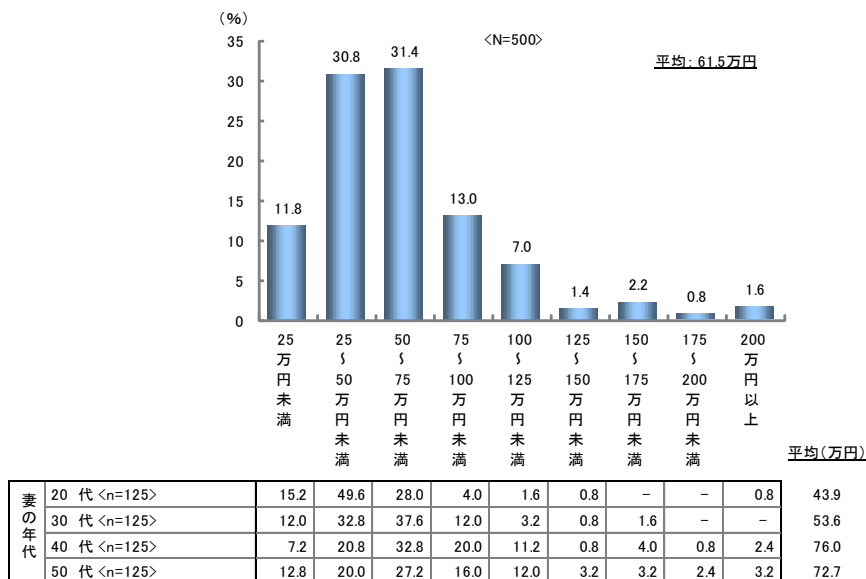
＜家計の現状/わが家の生活防衛策＞

- 家計が「楽である」(39.0%→41.2%)は 3 年ぶりに 4 割に回復も、今後「楽になっていく」は 1 割程度。
- 昨年 1 年間の金融資産増減平均額「減った」161.3 万円、「増えた」111.8 万円、全体では 10.5 万円減。
- 円高が続いた場合、主婦は家計への影響は「プラス」(4.0%)より、「マイナス」(38.8%)と考える。
- 2012 年の家計は“守っていこう”派が(46.8%)、20 代や専業主婦に“攻めていこう”派が多くみられる。
- 2012 年の家計支出は、「支出目的に応じたメリハリ運営」(43.4%)、通販の活用などで貯蓄を殖やす!
- 食費を切り詰めるための節約食材は「もやし」、メニューは「鍋」。「おから」など、かさまし食材が人気。
- 夫がリタイア後の自分の夢トップは、“夫婦でゆっくり旅行を楽しむ”。
- 夢にかかるお金の平均 2,193 万円、その実現性は平均 40.7%。
- 夫に内緒の資産(へそくり)の所持平均額 376.1 万円、所持率 48.2%ともに増加。最高額は 5,000 万円。

※過去調査結果は、本リリース P11 よりご確認下さい。

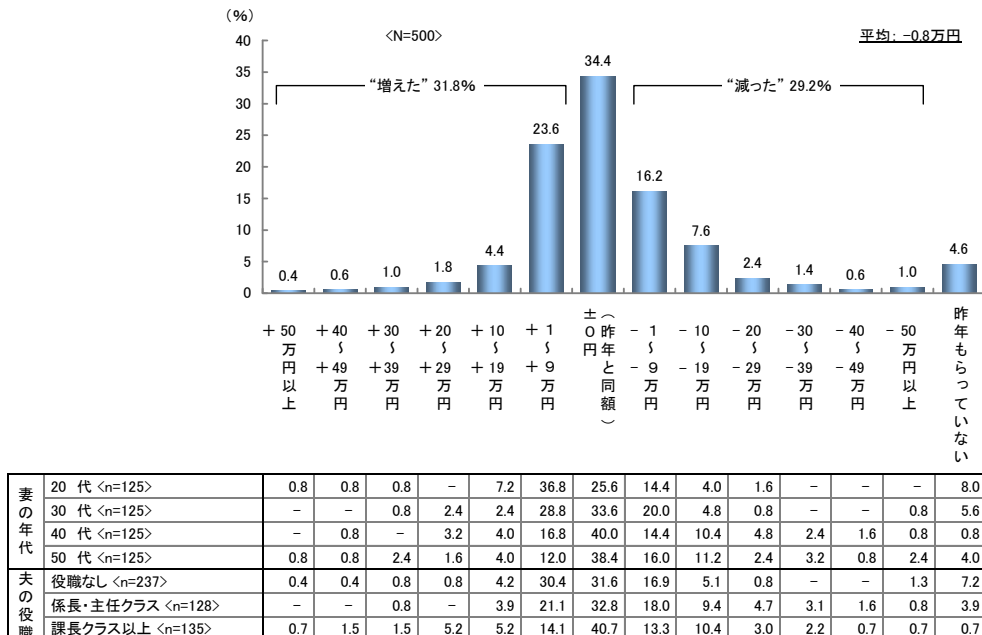
平均手取額は、昨冬から 0.6 万円減の 61.5 万円で調査開始以来最低。
昨冬との増減額を聞く質問では、「±0 円(変わらない)」が最も多いが、増減平均は「－0.8 万円」と微減。

2011 年冬のボーナス手取額



今冬のボーナスと昨冬のボーナスとの増減を聞いたところ、「50～75 万円未満」(31.4%)、「25～50 万円未満」(30.8%)がともに3割強で多く、平均は 61.5 万円となりました。昨冬の調査開始以来最低額である 62.1 万円をさらに 0.6 万円下回る結果となっています。

昨冬と比較したボーナス増減比較



昨冬の調査結果と比べると、「増えた」(33.8%→31.8%)、「減った」(31.4%→29.2%)で、「変わらない」(32.4%→34.4%)と、全体的にあまり変化はないようです。

昨冬との増減額を聞く質問でも、平均「－0.8 万円」と、ボーナスは全体的に微減傾向が見られました。

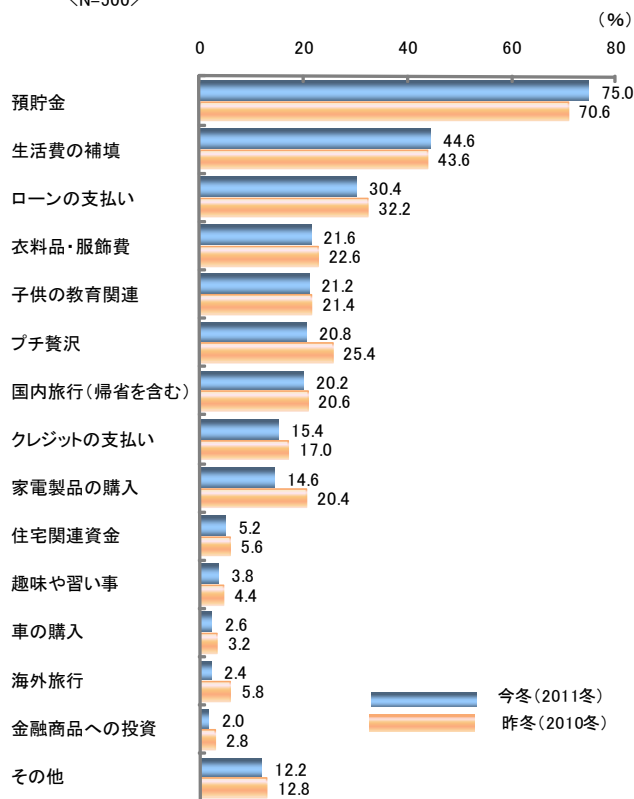
《 ボーナスの使い道 》

使い道トップの「預貯金」は 75.0% で、調査開始以来最高。

ボーナス総額に占める各用途別金額の内訳は、「預貯金」が 4 割を超える。

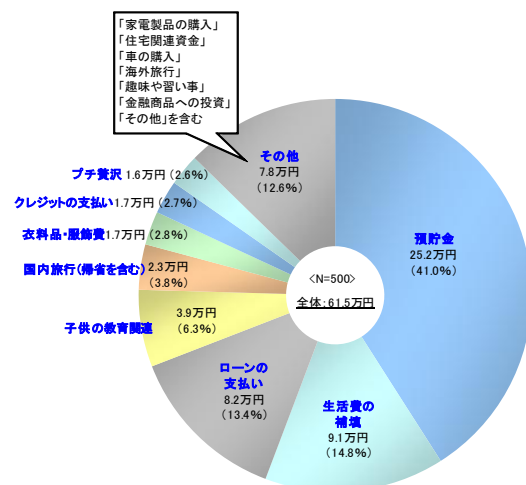
この冬のボーナスの主な使い道(複数回答)

<N=500>



ボーナスの主な使い道が総額に占める割合

(この冬のボーナス平均手取額 61.5 万円を総額とし、金額に換算)



ボーナスの使い道を聞いたところ、トップは「預貯金」(75.0%)で調査開始以来最高の割合となりました。トップ 3 は昨年と同様でしたが、「預貯金」以外は全体的に減少傾向にあるようです。

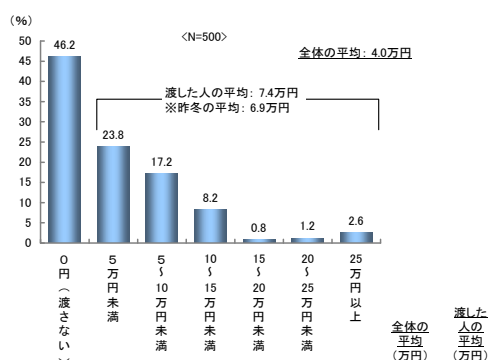
「プチ贅沢」(25.4%→20.8%)、「家電製品の購入」(20.4%→14.6%)も大きく減少が見られました。また、平均してボーナスの 4 割以上を貯蓄にまわしていることから主婦の気持ちが貯蓄に向かっていることがみてとれます。

《 ボーナスから夫に渡した小遣い 》

「0円(渡さない)」は昨冬より 4.2 ポイント増加(42.0%→46.2%)。

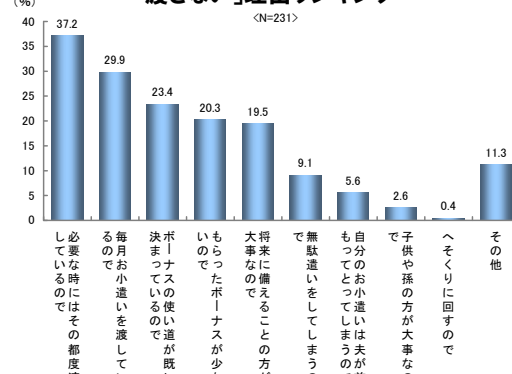
“渡した(渡そうと思っている)”人の平均金額は 7.4 万円と昨冬より 0.5 万円微増。

ボーナスから夫に渡した小遣い



妻の年代	20代 <n=125>	40.8	32.8	16.8	6.4	—	0.8	2.4
	30代 <n=125>	48.8	25.6	12.8	8.8	0.8	0.8	2.4
	40代 <n=125>	45.6	22.4	20.8	8.8	—	0.8	1.6
	50代 <n=125>	49.6	14.4	18.4	8.8	2.4	2.4	4.0

「渡さない」理由ランキング



妻の年代	20代 <n=51>	30代 <n=61>	40代 <n=57>	50代 <n=62>
20代 <n=51>	39.2	25.5	17.6	15.7
30代 <n=61>	50.8	29.5	21.3	14.8
40代 <n=57>	26.3	31.6	24.6	22.8
50代 <n=62>	32.3	32.3	29.0	27.4

今回のボーナスの中から、夫に小遣いとして渡した、あるいは渡そうと思っている金額を聞いたところ、「0円(渡さない)」(42.0%→46.2%)が昨冬より増加しています。

「0円(渡さない)」とした人の理由は、「必要な時にはその都度渡しているの」(37.2%)、「毎月お小遣いを渡しているの」(29.9%)という回答が多く見られました。

年代別では、《30代》「必要な時にその都度渡しているの」(50.8%)が半数を超え最も高くなっています。

《 臨時ボーナスをあげたい人とその金額 》

スポーツ界では「なでしこジャパン」(129 件)と、調査開始以来最高得票。
芸能界では「芦田愛菜」(62 件)、その他では「東日本大震災の被災地で活躍した人(自衛隊、ボランティアなど)」(10 件)、2 位に「橋下徹」(9 件)もランクイン。渡してあげたいボーナス金額(平均)トップは、「東日本大震災の被災地で活躍した人」の 1 億 451 万円。

2011 年後半 臨時ボーナスをあげたいと思う人

芸能界					スポーツ界					その他				
順位		件数	平均金額 (万円)	最高額 (万円)	順位		件数	平均金額 (万円)	最高額 (万円)	順位		件数	平均金額 (万円)	最高額 (万円)
1	芦田愛菜	62	127	1,000	1	なでしこジャパン	129	1,192	50,000	1	東日本大震災の被災地で活躍した人 (自衛隊、ボランティアなど)	10	10,451	90,000
2	嵐	25	4,261	99,999	2	澤穂希	45	336	1,000	2	東日本大震災の被災者	9	3,470	10,000
3	AKB48	11	635	5,000	3	浅田真央	26	255	1,500		橋下徹	9	1,217	5,000
4	SMAP	7	3,304	10,000	4	石川遼	7	93	100	4	自分	6	37	100
	鈴木福	7	18	100		ダルビッシュ有	7	844	5,000	5	枝野幸男	5	1,300	2,000
						福岡ソフトバンクホークス	7	664	3,000					

総合ランキング(票数)

順位		得票数
1	なでしこジャパン	129
2	芦田愛菜	62
3	澤穂希	45
4	浅田真央	26
5	嵐	25

総合ランキング(金額)

順位		平均金額 (万円)
1	東日本大震災の被災地で活躍した人 (自衛隊、ボランティアなど)	10,451
2	嵐	4,261
3	東日本大震災の被災者	3,470
4	SMAP	3,304
5	向井理	2,519

2011 年後半に臨時ボーナスをあげたい人をあげてもらったところ、総合は、「なでしこジャパン」(129 件)がトップとなりました。3 位に「澤穂希」がランクインするなど、サッカー女子ワールドカップでの活躍が票につながったようです。

※渡してあげたいボーナス金額は、「万円」単位で5桁以内で回答してもらった結果

《 主婦が詠むボーナス川柳 》

今冬の使い道を反映した「ボーナスは 通帳記帳に なっただけ」など、ボーナスへの思いは様々。
内容トップは、「家計のやりくの大変さ」だが、「ボーナスが出たことへの感謝」増加で、意識に変化！？

主婦が詠むボーナス川柳

【1 位 家計のやりくりの大変さ】 ・ボーナスを もらえどすでに 赤字なり ・ボーナスを もらう前から 仕分け済み ・ボーナスよ せめてひと冬 消えていく ・ボーナスは 全部子どもに 消えていく ・ボーナスで 少しも心 楽ならず	【5 位 使い道は貯蓄が最優先】 ・ボーナスは 通帳記帳に なっただけ ・ボーナスは 将来こわくて 使えない 【6 位 世相を反映】 ・温暖化 冬のボーナス 寒冷化 ・ボーナスは 震災出費の 穴うめに 【7 位 夫への感謝の気持ち】 ・ボーナス日 今日は寝ないで 待っている ・普段より 優しい私 ボーナス日 【8 位 ボーナスの額を見て喜んだ気持ち】 ・ボーナス額 予想外れて 大喜び ・通帳を ながめてようやく ほっとして 【9 位 今後のボーナスの不安】 ・体肥え 年金ボーナス 先細り ・いつまでも あると思うな ボーナス日 【10 位 税金に泣く】 ・税金が 大半を占める ボーナスよ
---	---

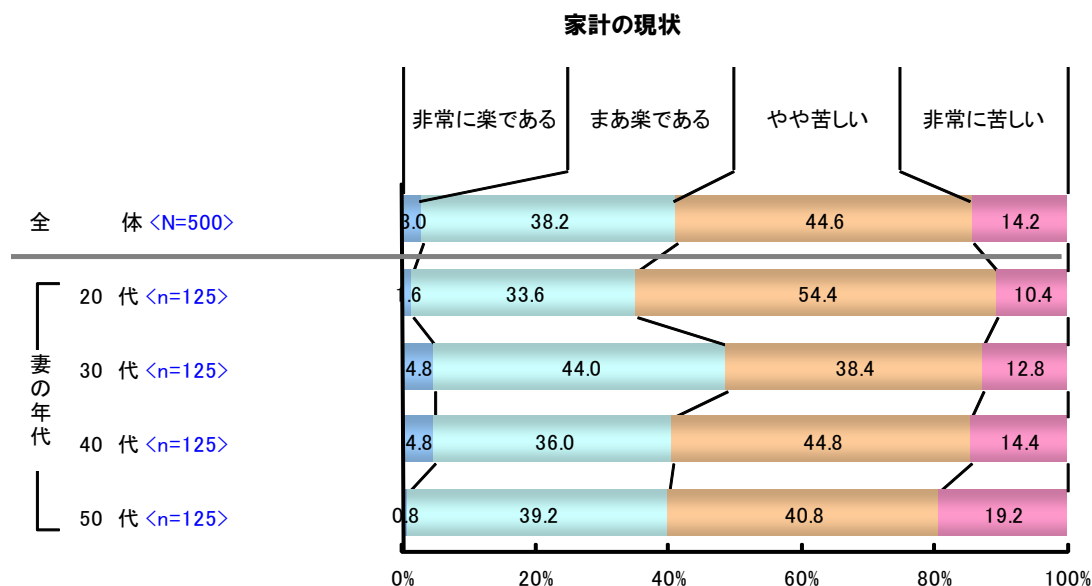
川柳に詠まれた主な内容

順位		件数	参考	
			昨冬の 順位	昨冬の 件数
1	家計のやりくりの大変さ	95	1	94
2	ボーナスの額を見てガッカリした気持ち	32	2	60
3	ボーナスが出ただけマシ	31	3	21
4	ボーナスが出たことへの感謝	24	5	18
5	使い道は貯蓄が最優先	22	3	21
6	世相を反映	19	—	—
7	夫への感謝の気持ち	15	7	11
8	ボーナスの額を見て喜んだ気持ち	14	7	11
9	今後のボーナスの不安	13	9	9
10	税金に泣く	9	—	—

主婦にボーナスをもらった感想を川柳に詠んでもらったところ、様々な句が詠まれました。川柳に詠まれた主な内容は、「ボーナスをもらったことへの感謝」(5 位→4 位)や、「世相を反映」(ランク外→6 位)が増えており、一方で、昨年 6 位の「ボーナスに期待しない」がランク外になるなど、「もらえるだけありがたい」と主婦の心境に変化が見られます。

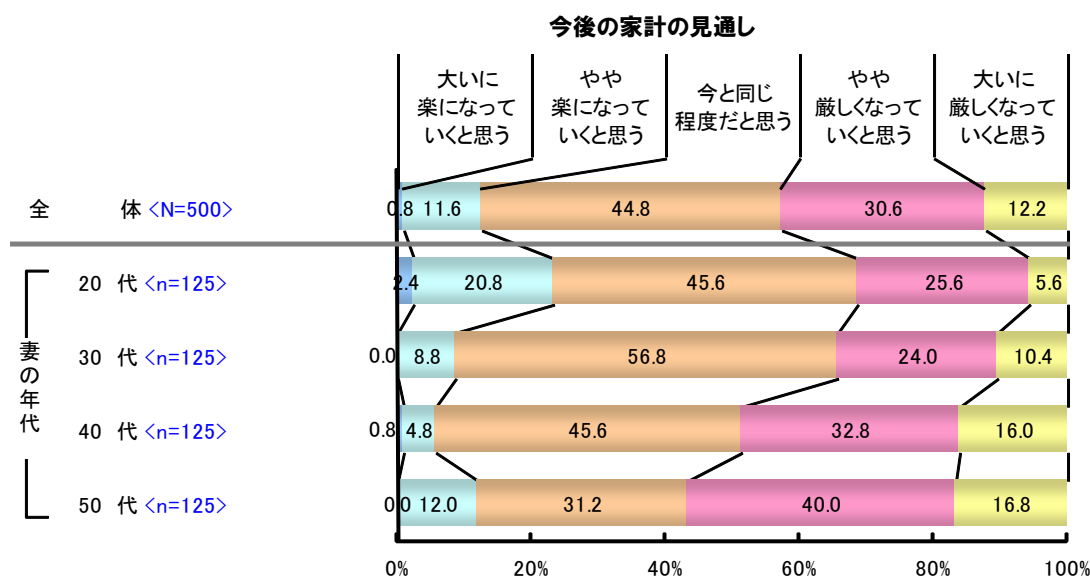
《 家計の現状と今後の見通し 》

家計が「楽である」(39.0%→41.2%)は3年ぶりに4割を超えるも、今後の見通し「楽になっていく」は1割程度と少ない。《50代》の家計“非常に苦しい”(19.2%)、見通し“厳しくなっていく”(56.8%)と家計状況は深刻。
※“苦しい”は、「やや苦しい」「非常に苦しい」の合計、“楽である”は、「まあ楽である」「非常に楽である」の合計を表します。



家計をやりくりしている主婦に、現在の家計について聞いたところ、「非常に楽である」(3.0%)、「まあ楽である」(38.2%)を合わせた“楽である”(41.2%)は昨冬に比べ2.2ポイント上昇しています。

年代別では、《20代》“苦しい”(64.8%)が最も高くなっていますが、《50代》では「非常に苦しい」(19.2%)は2割と厳しい家計状況にあるようです。



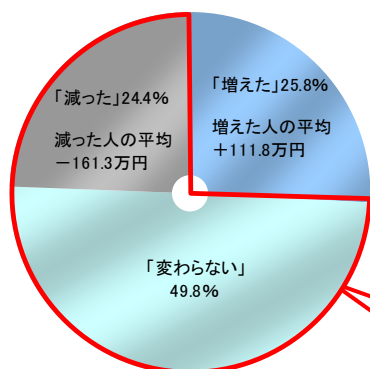
次に今後の家計の見通しを聞いたところ、「大いに楽になっていくと思う」(0.8%)、「やや楽になっていくと思う」(11.6%)を合わせた“楽になっていく”(12.4%)は1割程度にとどまり、「やや厳しくなっていくと思う」(30.6%)、「大いに厳しくなっていくと思う」(12.2%)を合わせた“厳しくなっていく”(42.8%)という方が多くなっています。また、「今と同じ程度だと思う」(44.8%)は4割台で、今後の家計の見通しについては厳しい見方が多い結果となっています。

年代別では、《30代》「今と同じ程度だと思う」(56.8%)が多い中、《20代》“楽になっていく”(23.2%)が2割を超えるなど、他の年代に比べ比較的楽観的なようです。

《 わが家の金融資産の増減 》

昨年 1 年間の金融資産増減平均額は、「減った」(−161.3 万円)、「増えた」(+111.8 万円)で、全体では 10.5 万円減少となった。

世帯の金融資産の増減



「減った」理由(自由回答:件)

順位		件数
1	子供の教育費に使ったから	35
2	投資・株に失敗したから	19
3	住居の購入・改築をしたから	14
4	冠婚葬祭に使ったから	10
5	趣味・レジャーに使ったから	9

「増えた」理由(自由回答:件)

順位		件数
1	毎月貯金したから	64
2	ボーナスを貯金したから	15
3	節約したから	12
4	パート・副業で稼いだから	8
	臨時収入(祝い・宝くじ・遺産等)があったから	8

「減った」(24.4%) + 「変わらない」(49.8%)
= 「増えなかった」(74.2%)

2011 年の 1 年間で、世帯の預貯金や運用などを合わせた「金融資産の残高」(不動産や夫に内緒の資産は含まない)の増減を聞いたところ、昨冬に比べて「増えた」(24.4%→25.8%)と「減った」(29.8%→24.4%)で「増えた」が微増しています。

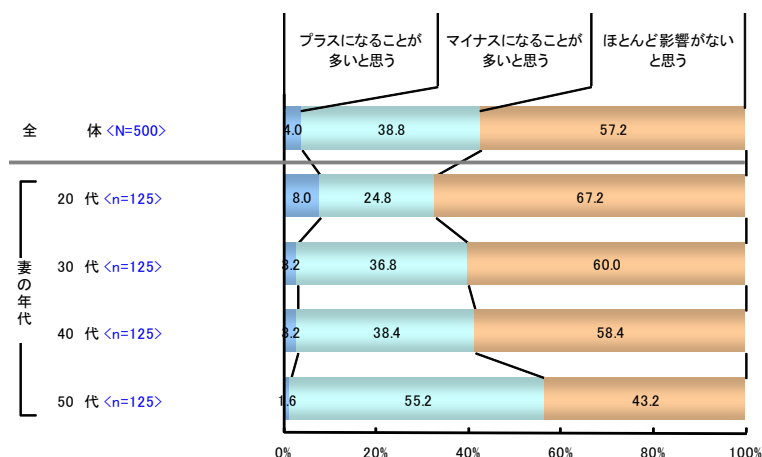
しかし、増減額を見ると「増えた」人の平均増加額は「111.8 万円」、「減った」人の平均減少額は「161.3 万円」となり、全体では 10.5 万円の減少と金融資産は減少傾向がみられます。

「減った」理由を聞いたところ、2 位には「投資・株に失敗したから」(19 件)という理由もあげられました。

《 円高の影響 》

円高が続いた場合、家計への影響は「プラス」(4.0%)より、「マイナス」(38.8%)の見方が強い。

2012 年も「円高」が続いた場合、家計への影響についてはどう思うか



「マイナスになることが多いと思う」理由(自由回答:件)

順位		件数
1	夫の仕事に影響が出るから	61
2	円高でも物価は下がらないから	24
	景気が悪くなるから	24
4	給与が下がるから	22
5	外貨預金しているから	20
6	株価が下がるから	13
7	投資で損失が出るから	9

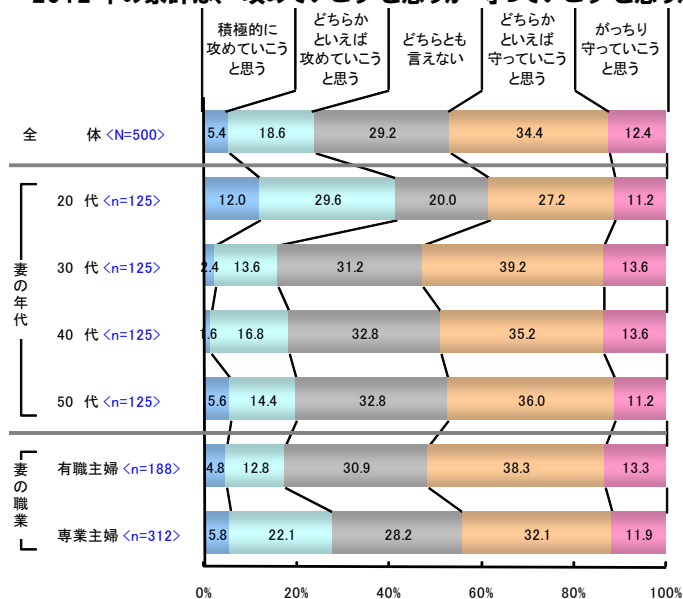
2012 年もこのまま「円高」が続いた場合、家計への影響についてはどう思うか聞いてみたところ、「マイナスになることが多いと思う」も 4 割近く(38.8%)と 3 分の 1 以上の割合を占め、「円高」の不安が大きい一方、「プラスになることが多いと思う」はわずか 4%でした。

「マイナスになることが多いと思う」と答えた人に、その理由を聞いてみると、「夫の仕事に影響が出るから」(61 件)が最も多く、「円高でも物価は下がらないから」(24 件)、「景気が悪くなるから」(24 件)など、主婦は景気への不安を感じているようです。

《 2012 年の家計は何派？ 》

2012 年の家計は儉約・節約に努める“守っていこう”派が(46.8%)多いが、《20 代》や専業主婦には、投資などで積極的に“攻めていこう”派も目立つ。

2012 年の家計は、“攻めていこう”と思うか“守っていこう”と思うか



2012 年の家計に関して、投資など積極的に“攻めていこう”と思うか、儉約・節約をして“守っていこう”と思うかを聞きました。

全体でみると、2012 年は“守っていこうと思う”(46.8%)が“攻めていこうと思う”(24.0%)の2倍近い割合で、儉約・節約に努める“守りの姿勢”が強いようです。

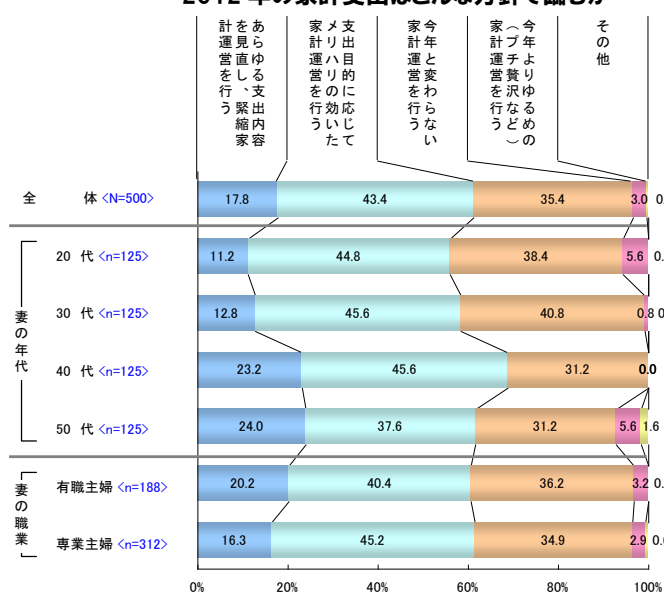
一方、妻の年代別にみると、“攻めていこうと思う”の割合は《20 代》(41.6%)で突出して高く、他の年代の2割前後に比べ勢いがあります。

職業別にみると、“攻めていこうと思う”という割合は《有職主婦》(17.6%)よりも《専業主婦》(27.9%)の方が 10 ポイント以上高くなりました。

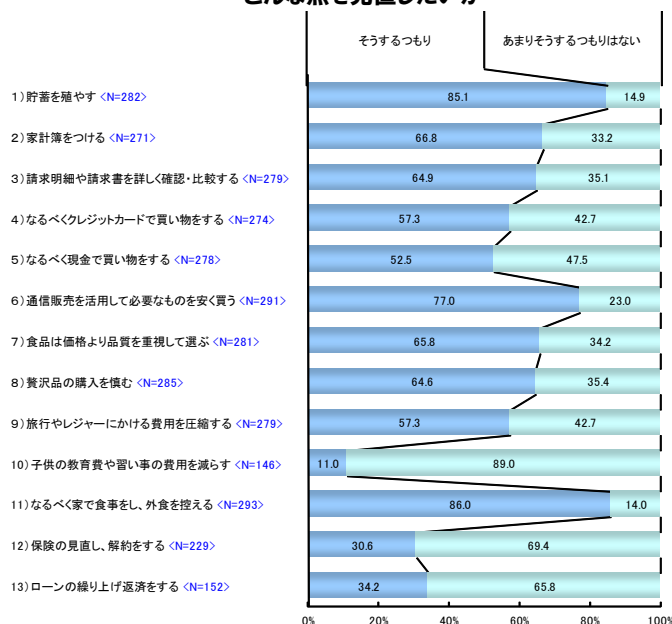
《 2012 年の家計支出 》

2012 年の家計支出は、「支出目的に応じたメリハリ運営」(43.4%)、通販の活用などで貯蓄を殖やす。

2012 年の家計支出はどんな方針で臨むか



どんな点を見直したいか



全体では、「支出目的に応じてメリハリの効いた家計運営を行う」(43.4%)が高く、家計に“緊縮”よりは“メリハリ”に重点を置いて支出をしていきたいと考えているようです。

妻の年代別でも、すべての年代で“メリハリ”志向が高くなっています。職業別では、専業主婦の方が「支出目的に応じてメリハリの効いた家計運営を行う」(45.2%)と高くなりました。《30 代》では「今年よりもゆめめの家計運営を行う」が 4 割と、他の年代よりも高くなりました。

さらに、「あらゆる支出内容を見直し、緊縮家計運営を行う」「支出目的に応じてメリハリの効いた家計運営を行う」と回答した人に対し、どのような点を見直したいか聞いてみました。

「11)なるべく家で食事をし、外食を抑える」(86.0%)、「1)貯蓄を殖やす」(85.1%)の2項目が8割を超えているほか、「6)通信販売を活用して必要なものを安く買う」(77.0%)、「2)家計簿をつける」(66.8%)も高い割合となりました。

《節約食材・メニュー》

食費を切り詰めるための節約食材トップは「もやし」、節約メニュートップは「鍋料理」！
「おから」など、かさまし食材が人気。

この冬、食費を切り詰めるための節約食材

順位		件数
1	もやし	240
2	豆腐	175
3	ひき肉	46
4	鶏肉	43
5	卵	41
6	納豆	38
7	白菜	36
8	野菜	32
9	豚肉	23
10	おから	18

この冬、食費を切り詰めるための節約メニュー

順位		件数
1	鍋料理	198
2	野菜炒め	73
3	丼物	58
4	ハンバーグ	27
5	カレー	23
6	麺類(パスタ・焼きそば・うどん・ラーメン)	18
7	煮物	17
8	麻婆料理(豆腐・もやし・春雨)	15
9	スープ・味噌汁	13
10	肉料理	14

この冬、食費を切り詰めるための節約食材は何か、自由回答で答えてもらったところ、最も多いのが「もやし」(240件)で、次いで「豆腐」(175件)が続いています。また、10位には「おから」(18件)もあげられました。次いで、食費を切り詰めるための節約メニューを自由回答で答えてもらった結果をみると、「鍋料理」(198件)、「野菜炒め」(73件)とヘルシーなメニューが続いています。

《2012年のお金にまつわる「抱負や夢」》

「貯金する」(115件)、「節約する・無駄遣いをやめる」(59件)など堅実な抱負があげられる。

2012年のお金にまつわる「抱負や夢」

順位		件数
1	貯金する	115
2	節約する・無駄遣いをやめる	59
3	宝くじ当選	44
4	旅行	28
5	パート・副業で稼ぐ	26
	金融市場の安定	26
7	ローン返済	23
	景気回復	23
	余裕のある生活	23
10	給与・ボーナスアップ	16
	政治の安定・改革	16

2012年のお金にまつわる「抱負や夢」を自由回答で答えてもらいました。

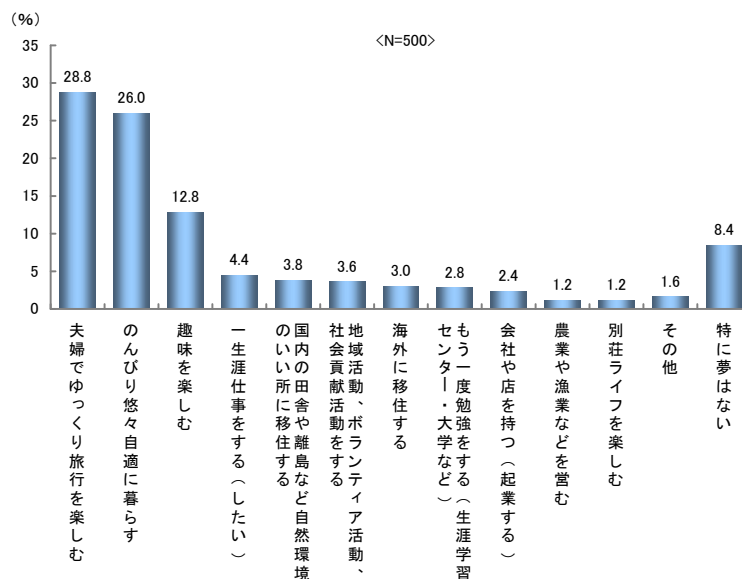
ここでもトップは、「貯金する」(115件)が圧倒的に多くなっているほか、「節約する・無駄遣いをやめる」(59件)、「宝くじ当選」(44件)、「パート・副業で稼ぐ」(26件)といった自分が“お金を得る”ことをあげる回答が多くあげられました。

5位以下には、「金融市場の安定」(26件)、「景気回復」(23件)といった“日本の経済状態の改善”を願う回答もみられます。

《夫がリタイア後の自分(主婦)の夢》

夫がリタイア後の自分の夢トップは、「夫婦でゆっくり旅行を楽しむ」(28.8%)など、“のんびり派”が多い。夢にかかるお金の平均は、「2,193 万円」で、その実現性は平均 40.7%と、夢によって様々。

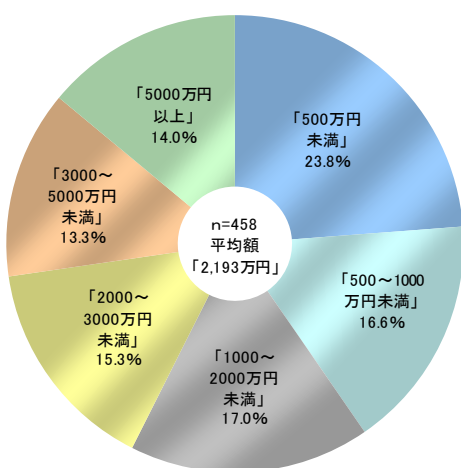
夫がリタイアした後の「自分(妻)の夢」(最もしたいこと)



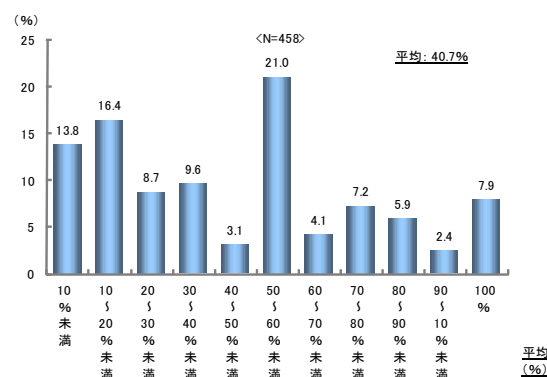
妻の年代	20代 <n=125>	39.2	29.6	8.8	4.8	4.0	1.6	1.6	-	3.2	3.2	1.6	0.8	1.6
	30代 <n=125>	34.4	30.4	8.0	4.0	4.0	3.2	4.0	2.4	3.2	-	0.8	0.8	4.8
	40代 <n=125>	17.6	25.6	12.8	3.2	4.8	4.0	4.0	2.4	2.4	-	0.8	4.8	17.6
	50代 <n=125>	24.0	18.4	21.6	5.6	2.4	5.6	2.4	6.4	0.8	1.6	1.6	-	9.6

夫がリタイアした後の「自分(妻)の夢」(最もしたいこと)を1つだけあげてもらったところ、「夫婦でゆっくり旅行を楽しむ」(28.8%)と「のんびり悠々自適に暮らす」(26.0%)がともに2割台で多くなっています。特に、若い世代ほど“ゆっくり”“のんびり”と回答した主婦が多くなっています。

その夢の実現のために必要だと思う金額



その夢の実現性(%)



妻の年代	20代 <n=123>	10.6	14.6	3.3	13.8	6.5	17.9	5.7	9.8	4.1	1.6	12.2	45.4
	30代 <n=119>	9.2	16.8	12.6	8.4	0.8	23.5	4.2	5.0	9.2	2.5	7.6	42.4
	40代 <n=103>	18.4	18.4	10.7	5.8	1.9	22.3	4.9	5.8	4.9	2.9	3.9	35.5
	50代 <n=113>	17.7	15.9	8.8	9.7	2.7	20.4	1.8	8.0	5.3	2.7	7.1	38.4

続いて、その夢の実現のために必要だと思う金額を聞いたところ、「500 万円未満」(23.8%)が最も高くなっていますが、平均は「2」となりました。

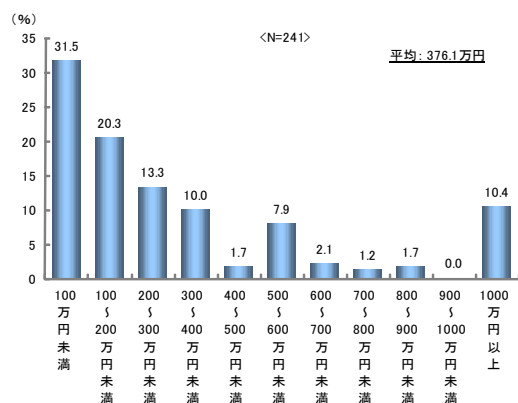
その夢の実現性は、「現在の貯蓄や資産」+「今後の貯蓄や資産運用、将来予想される退職金」などからみて何%くらいか聞いてみたところ、平均は「40.7%」となりました。

妻の年代別にみると、平均は《40代》(35.5%)、《50代》(38.4%)に比べ、《20代》(45.4%)、《30代》(42.4%)の若い年代の方が高くなっています。夫のリタイアの時期がまだ先のため、多少お金のかかる夢でも希望を持てるのかも知れません。

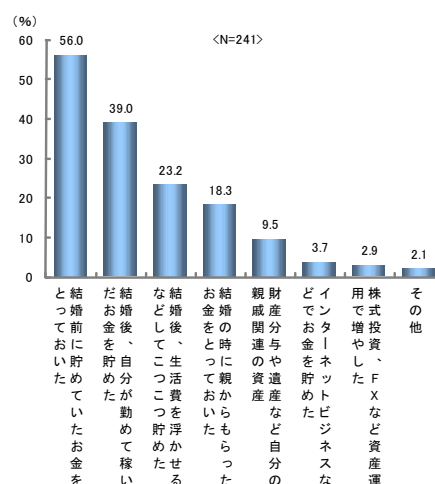
《夫に内緒の資産(へそくり)に関して》

夫に内緒の資産(へそくり)の所持平均額 376.3 万円、所持率 48.2% とともに増加。最高額は 5,000 万円 (3 名)。

夫に内緒の資産(へそくり)をいくらくらい持っているか

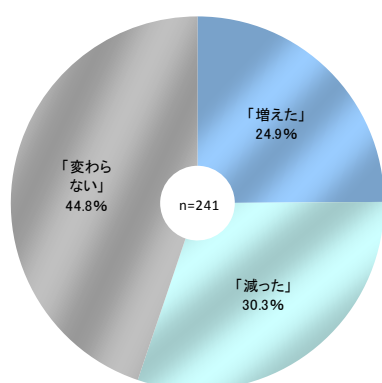


『夫に内緒の資産』を得た方法

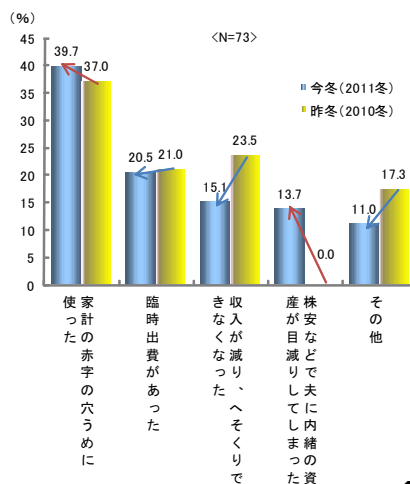


『夫の内緒の資産』(へそくり)の有無を聞いたところ、所持率(43.8%→48.2%)、所持平均金額(308.3 万円→376.1 万円)がともに増加しています。

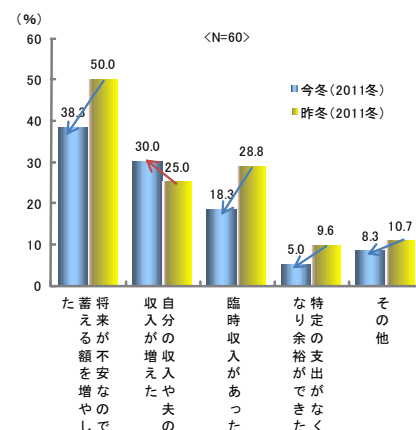
2011 年に入ってから
へそくりの増減



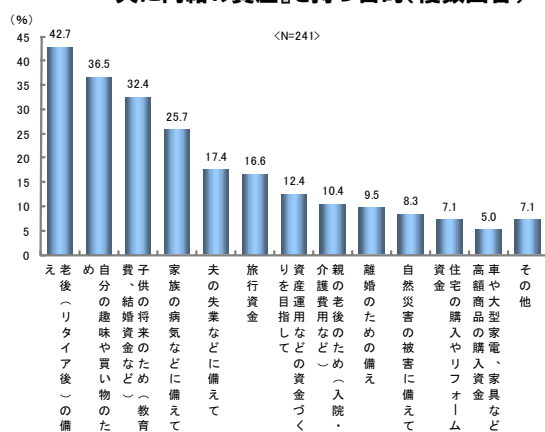
減った理由



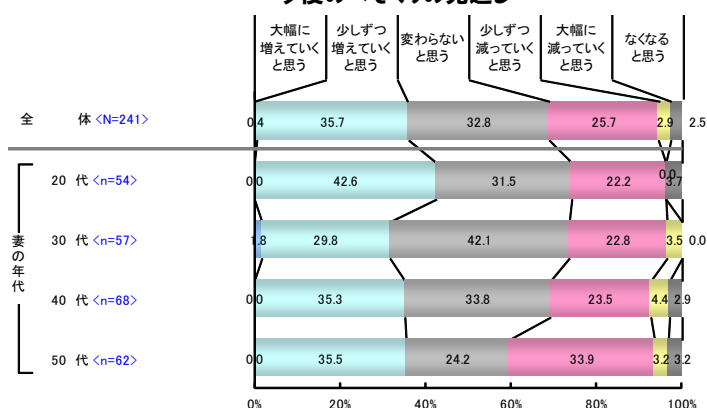
増えた理由



『夫に内緒の資産』を持つ目的(複数回答)



今後のへそくりの見通し



『夫に内緒の資産』を持つ目的には、「自然災害への備え」(8.3%)が 1 割弱見られました。

さらに、2011 年に入ってからへのそくりの増減を聞いたところ、「減った」(37.3%→30.3%)はやや減少しています。「減った」最も大きな理由には、「株安などで目減りした」(13.7%)と、新たに資産運用が原因にあげられました。

今後のへそくりの見通しは、「少しずつ増えていくと思う」(35.7%)が 3 分の 1 以上を占めました。

先の見えない経済状況が、主婦をへそくりや貯蓄に向かわせているようです。

【参考】サラリーマン世帯の主婦に聞く『ボーナスと家計の実態調査』過去推移

年 ＜夏＞	夏調査																	票数
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり			夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し			臨時ボーナスを あげたい人 （最多回答）	
	平均 手取り （万円）	増えた	減った	増える	減る+なく なると思う	変わらない	平均所 持率	持ってい る人の平 均 （万円）	最高 金額 （万円）	渡した人 の平均 （万円）	小遣い なしの 割合	楽で ある	苦しい	楽に なる	厳しく なる	今と 同程度		
2003	67.1	23.4%	53.0%														主人	23票
2004	65.8	38.4%	27.6%	30.4%	32.6%	28.0%				4.0	17.6%						自分自身	68票
2005	76.2	43.2%	20.4%				43.6%	230.2	2,000 （3名）			46.4%	53.6%				サッカー日本代表	96票
2006	77.8	49.8%	17.4%				55.2%	313.2	3,000			45.8%	54.2%				荒川静香	68票
2007	77.9	49.2%	20.2%				45.2%	267.9	3,000	7.3	23.6%	49.2%	50.8%	19.8%	45.6%	34.6%	石川遼	58票
2008	75.3	37.0%	26.0%	30.8%	32.6%	36.6%	41.0%	356.3	4,000	12.3	41.6%	45.4%	54.6%	15.2%	46.4%	38.4%	エド・はるみ	38票
2009	65.5	20.6%	53.6%	25.6%	40.8%	33.6%	34.8%	337.2	4,000	9.8	48.0%	38.4%	61.6%	12.2%	50.0%	37.8%	イチロー	107票
2010	67.0	40.8%	28.4%	37.0%	29.8%	33.2%	45.0%	364.5	5,000	8.6	48.6%	44.2%	55.8%	15.6%	40.8%	43.6%	嵐	45票
2011	67.6	33.7%	25.9%	31.3%	31.5%	37.2%	44.7%	336.6	5,500	10.6	48.0%	42.9%	57.1%	16.3%	49.4%	34.3%	石川遼	73票

注①：03年冬のみ、夫の小遣いは「ボーナスの中で、自由に使える夫の小遣い」、その他の年は「ボーナスの中から夫に渡した小遣い」

年 ＜冬＞	冬調査																	票数
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり			夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し			臨時ボーナスを あげたい人 （最多回答）	
	平均 手取り （万円）	増えた	減った	増える	減る+なくな ると思う	変わらない	平均所 持率	持ってい る人の平 均 （万円）	最高 金額 （万円）	渡した人 の平均 （万円）	小遣い なしの 割合	楽で ある	苦しい	楽に なる	厳しく なる	今と 同程度		
2003	66.9	24.2%	53.0%	28.4%	39.4%	22.4%				5.3	19.0%	8.4%	50.8%				松井秀喜	76票
2004	68.8	37.6%	30.8%									15.4%	42.6%				イチロー	58票
2005	69.5	39.4%	26.0%				45.6%	241.3	2,000 （2名）			43.6%	56.4%				レイザーラモンHG	50票
2006	69.3	40.8%	21.6%				49.0%	306.3	3,500	8.8	27.6%	47.0%	53.0%				新庄剛志	49票
2007	66.6	36.8%	24.2%				43.0%	245.0	2,000	7.4	19.0%	43.2%	56.8%	16.2%	43.0%	40.8%	小島よしお	119票
2008	70.5	29.0%	34.6%	21.2%	49.6%	29.2%	42.0%	461.3	4,000 （2名）	11.1	37.4%	38.2%	61.8%	9.2%	59.8%	31.0%	石川遼	88票
2009	62.1	20.4%	53.8%	23.4%	41.0%	35.6%	46.8%	374.3	1億	7.3	47.4%	36.8%	63.2%	11.4%	46.0%	42.6%	石川遼	92票
2010	62.1	33.8%	31.4%	29.6%	33.8%	36.6%	43.4%	308.3	3,500	6.9	42.0%	39.0%	61.0%	13.0%	44.0%	43.0%	石川遼	55票
2011	61.5	31.8%	29.2%	30.2%	31.2%	38.6%	48.2%	376.1	5,000	7.4	46.2%	41.2%	58.8%	12.4%	42.8%	44.8%	なでしこジャパン	129票

注②：家計の苦しさに関する質問は05年冬より「変わらない」は削除。「変わらない」03年(40.8%)、04年(42.0%)

年	夏調査											
	主な使い道											
	1位		金額 換算	2位		金額 換算	3位		金額 換算	4位		金額 換算
2003	生活費の補填	51.2%		預貯金など貯蓄	47.0%		ローン・クレジットの支払い	41.2%		国内旅行	28.8%	
2004	預貯金など貯蓄	56.2%		ローン・クレジットの支払い	38.6%		生活費の補填	37.8%		国内旅行	22.0%	
2005	預貯金など貯蓄	53.6%		ローン・クレジットの支払い	37.0%		生活費の補填	31.4%		国内旅行	29.6%	
2006	預貯金など貯蓄	55.2%		ローン・クレジットの支払い	35.8%		生活費の補填	33.4%		国内旅行・帰省	28.0%	
2007	預貯金など貯蓄	58.6%		ローン・クレジットの支払い	37.8%		生活費の補填	33.0%		国内旅行・帰省	30.4%	
2008	預貯金など貯蓄	55.8%		生活費の補填	36.4%		ローン・クレジットの支払い	33.2%		子供の教育関連	25.0%	
2009	預貯金など貯蓄	51.6%		生活費の補填	35.4%		ローン・クレジットの支払い	31.2%		国内旅行・帰省	22.2%	
2010	預貯金など貯蓄	74.2%	26.7万円	生活費の補填	39.6%	7.5万円	ローンの支払い	37.6%	11.2万円	プチ贅沢	28.4%	2.3万円
2011	預貯金など貯蓄	68.7%	24.2万円	生活費の補填	39.2%	7.8万円	ローンの支払い	33.0%	9.6万円	国内旅行・帰省	29.7%	4.1万円

注③：主な使い道に関する質問は10年夏より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割

年	冬調査											
	主な使い道											
	1位		金額 換算	2位		金額 換算	3位		金額 換算	4位		金額 換算
2003												
2004	預貯金など貯蓄	53.4%		生活費の補填	40.8%		ローン・クレジットの支払い	39.8%		国内旅行・帰省	23.8%	
2005	預貯金など貯蓄	55.2%		生活費の補填	34.6%		ローン・クレジットの支払い	33.0%		国内旅行・帰省	25.8%	
2006	預貯金など貯蓄	54.8%		ローン・クレジットの支払い	34.8%		生活費の補填	30.8%		衣料品・服飾費	22.0%	
2007	預貯金など貯蓄	60.6%		ローン・クレジットの支払い	32.2%		生活費の補填	30.6%		衣料品・服飾費	23.6%	
2008	預貯金など貯蓄	64.2%		生活費の補填	37.4%		ローン・クレジットの支払い	36.0%		家電製品の購入	19.6%	
2009	預貯金など貯蓄	68.0%	23.6万円	生活費の補填	47.2%	8.1万円	ローンの支払い	33.8%	9.3万円	国内旅行・帰省	21.4%	2.5万円
2010	預貯金など貯蓄	70.6%	22.4万円	生活費の補填	43.6%	8.1万円	ローンの支払い	32.2%	8.7万円	プチ贅沢	25.4%	1.9万円
2011	預貯金など貯蓄	75.0%	25.2万円	生活費の補填	44.6%	9.1万円	ローンの支払い	30.4%	8.2万円	衣料品・服飾費	21.6%	1.7万円

注③：主な使い道に関する質問は09年冬より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割

DIY生命の「4つの約束」

わたしたち損保ジャパンDIY生命は1999年の創業以来、「1年組み立て保険」という独自の商品販売を通じて、“自分の保険は、自分でつくる”、“生命保険は、ライフステージの変化に合わせて見直す”、“生命保険で、貯蓄はしない”というメッセージを発信し続けています。これらは、お客さまに「真にムダのない、合理的な保険をご提供する」というメッセージであり、次に掲げる当社の「4つの約束」に基づいています。

◆お客さまにぴったりあった商品の提供

◆お客さま自らの判断でご加入いただくこと

◆迅速なサービスの提供

◆お客さまとの継続的な関係の構築

わたしたちは、損害保険ジャパングループの「ダイレクト販売専門生命保険会社」として、また「常に先進的な取り組みを目指す会社」として、これからも「4つの約束」のもと、質の高いサービスと安心を提供してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社

広報室：杉山、高月 TEL:03-5437-9026